

展開科目〈観光〉	クラス		科目コード	配当年次	期 間	人数制限
観光マーケティング論			13833	Ⅲ	春	
担当者名	区分	単位	科目と関係のある実務経験			
栗木 契	選択	2	観光関連事業の計画策定・アドバイザー・審査員・研修講師			

授業の到達目標

観光マーケティングに関わる多様なプレーヤーの存在と役割を理解し、そこで必要となるマーケティングのためのマネジメントのポイントを理解する。この授業ではKAISEIパーソナリティのK（思いやり）、A（自律）、I（知性）、S（奉仕）を養う。

授業の概要

観光マーケティングには旅行業、宿泊業、航空輸送業、鉄道業といった多様なプレーヤーが関わる。さまざまな企業や地域の事例を踏まえて、これらのプレーヤーの役割と、そのマネジメントのポイントを学ぶ。毎回の授業では講義に加えて、事例をもとにしたグループディスカッションと、学んだ知識の確認のための小テストを行う。

授業計画

- 1 オリエンテーション
- 2 観光事業のマネジメント特性(1)
- 3 観光事業のマネジメント特性(2)
- 4 旅行業のマネジメント
- 5 宿泊業のマネジメント
- 6 航空輸送業のマネジメント
- 7 鉄道事業のマネジメント
- 8 テーマパークのマネジメント
- 9 空港のマネジメント
- 10 IRのマネジメント
- 11 観光協会のマネジメント
- 12 地域の観光まちづくり
- 13 地域ブランドの構築
- 14 観光とウェブビジネス
- 15 まとめと定期試験

授業の方法

講義とグループディスカッションを中心とする。

準備学修

Webで参照すること。

課題・評価方法、その他

毎回の授業の小テスト（60％）、定期試験（40％）

欠席について

出席点はないが、毎回の授業の小テストの得点が成績評価につながる。毎回の欠席確認は行う。

テキスト

高橋一夫・柏木千春編著『1からの観光事業論』碩学舎、2016年

参考図書

石井淳蔵・嶋口充輝・栗木契・余田拓郎『ゼミナール・マーケティング入門・第2版』日本経済新聞出版、2013年

展開科目〈観光〉	クラス		科目コード	配当年次	期 間	人数制限
航空ツーリズム論			13836	Ⅲ	秋	
担当者名	区分	単位	科目と関係のある実務経験			
石井 由美子	選択	2	日本航空株式会社 客室乗務員。 サービス業における人材開発、インバウンド接客に携わっている。			

授業の到達目標

グローバル市場の中で航空業のビジネス戦略を学び、その上で航空業の観光における役割について説明できる。
航空業の歴史やオープンスカイ政策とその後の各航空会社のビジネス戦略を理解しグローバルアライアンスや台頭するLCC（格安航空）、変化する世界の空港を理解する。
新型コロナウイルス感染状況、ウクライナ情勢、脱炭素社会など、変化し続ける社会情勢にあって、航空業界がどのような課題を持ち、それに向けて対応しているか、どのような未来へ向かうかを考える。

航空業界の取組みを通じ、未来ある学生が地球環境や課題を考えることによって、このクラスではKAISEIパーソナリティのI（知性）とIn（国際性）の視座を持つことを目標とする。

授業の概要

エアラインビジネスのオペレーションの概要や歴史、航空政策、経営特性、経済特性、経営動向やエアラインが置かれている社会環境や課題などについて学修する。
航空産業は世界経済や社会情勢によって日々変化を余儀なくされる。新型コロナウイルスの感染拡大に航空需要は一時コロナ前比9割減にまで落ち込んだ。また、航空業界に限らずどの業界にあっても、地球温暖化、脱炭素への取組みが求められている。ウクライナ情勢も航空業界に影響を及ぼす。これら変化し続ける社会情勢にあって、航空業界がどのような課題を持ち対応しているか、どのような未来へ向かうかを考える。

授業計画

- 1 講義概要、評価方法、シラバス（講義計画）乗員・CA・整備、グランドスタッフ等エアラインの仕事の概要
- 2 航空機と航空管制の概要
- 3 民間航空の歴史
- 4 航空自由化への流れ
- 5 空港政策
- 6 エアラインビジネスの特性
- 7 ネットワークの考え方とアライアンスの概要
- 8 航空運賃とレベニューマネジメント
- 9 FFP・ブランド戦略・CS戦略
- 10 LCC（格安航空会社）

- 11 航空とホスピタリティ、ユニバーサルデザインの重要性
- 12 航空貨物ビジネス
- 13 航空と観光と空飛ぶ車
- 14 環境問題、SDGsと未来の航空・宇宙産業
- 15 まとめ、定期試験

授業の方法

講義を中心とするが、学生への課題ではグループディスカッション、プレゼンテーションを取り入れる。

準備学修

関連項目をWeb、関連図書で参照すること。

課題・評価方法、その他

グループディスカッション、プレゼンテーションでは教員によるフィードバックを行う。
課題提出40％、平常点20％、定期試験40％

欠席について

大学の規定通りとする。

テキスト

必要に応じて配布する。

参考図書

『エアライン・ビジネス入門第2版』（2022）稲本恵子 編者 晃洋書房
『航空産業入門 第2版』（2017）ANA総合研究所
『最新航空事業論・第2版』（2016）井上泰日子 日本評論社

留意事項

積極的な発言、参画意識を持つこと。
世界の航空業界の動きや日本の観光立国に向けた航空政策、訪日観光客や観光業界に関するニュースなどは常に注目しておくこと。

オフィスアワー

直接教員に質問したい場合は、オフィスアワーを活用すること。
各教員のオフィスアワーの日時については教務課前掲示板を確認のこと。